

株主の皆様へ

第117期  
中間報告書

平成20年4月1日から平成20年9月30日まで



中外鉱業株式会社

## 株主の皆様へ



代表取締役社長 安藤 道明

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申しあげます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

さて、当社は平成20年9月30日をもちまして第117期（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）の第2四半期累計期間を終了いたしましたので、ここに営業の概況についてご報告申しあげます。

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、原油、原材料価格の高騰が企業収益や家計を圧迫するなど、景気の減速懸念は一段と高まっており、また、米国のサブプライムローン問題に端を発した金融不安の影響など、先行きの不透明感は依然払拭されないうまま推移してまいりました。

貴金属リサイクル業界におきましては、金・銀・プラチナ等の貴金属価格が高値安定基調で推移していたものの、8月以降は米国に端を発した金融不安、為替の急激な変動が影響し、貴金属価格の下落基調が強まりました。

当社の主力とする精金事業につきましては、月産600キログラムの金地金の生産体制が整ったことに加え、新店舗の増設に伴い売上高が前年同期比54億6百万円増加の162億72百万円となりました。

なお、精金事業部は、貴金属事業部に名称変更しております。

不動産事業につきましては、金融市場の混乱等により、不動産市況は急速に悪化したものの、都内の物件の販売が寄与し、売上高は、前年同期比44億34百万円増加の48億24百万円となりました。

機械事業につきましては、北米、欧州、アジア向け輸出需要が大幅に落ち込み、国内需要は自動車業界向けの需要が弱含みとなっているため、工作機械業界は減速感が強まりました。

それに伴い売上高は、前年同期比2億17百万円大幅減少の9億43百万円となりました。

この結果、連結売上高は、前年同期比94億7百万円増加の220億40百万円となりました。

連結営業損益は、貴金属事業、機械事業について

は減益となったものの、不動産事業において大幅な収益の増加が見られたことから前年同期比24億40百万円増益の22億90百万円の利益となりました。

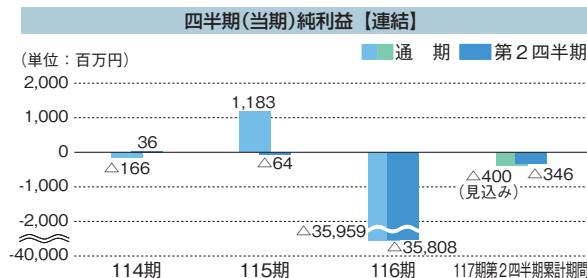
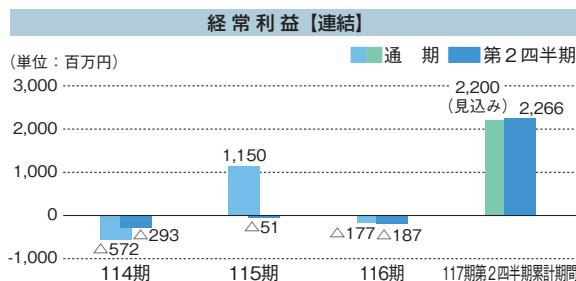
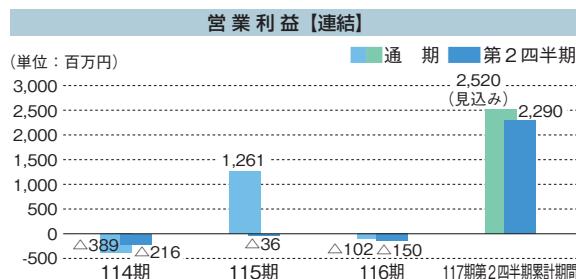
連結経常損益は、受取利息を含む営業外収益21百万円に対し、支払利息を含む営業外費用44百万円が発生したことから、22億66百万円の利益、前年同期比24億53百万円の増益となりました。

第2四半期連結累計純損益は、特別損失として仕掛不動産評価損18億4百万円および固定資産に対する減損損失6億98百万円等26億23百万円を計上した結果、3億46百万円の損失となりました。

なお、中間配当につきましては、誠に申し訳なく存じますが見送りとさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年12月



# セグメント情報

## 貴金属事業部門

貴金属事業部門は、工程改善により金の生産能力は大幅に増加いたしました。

金の生産量につきましては、増設した溶媒抽出設備の順調な稼働により、金の生産効率が大幅に向上し、前年同期比22.4%増の3トン661キログラムとなりました。

売上高は、営業の強化および金価格の上昇により162億72百万円、前年同期比54億6百万円の大幅な増収となりました。

営業損益は、支店新設に伴う費用の増加ならびに湯ヶ島鉱床下部探査ボーリングの経費を一括費用計上したこと等により、前年同期比1億21百万円減益の53百万円の損失となりました。

国内金建値（期中平均）は、前年同期比16.6%上昇の1グラム当たり3,040円となりました。

純金めっきにつきましては、営業を強化しており、順次受注を拡大しております。



純金地金（1キログラムインゴット）



東京工場の研究施設（一部）

## 不動産事業部門

不動産事業部門の売上高は、物件販売、不動産賃貸収入等を合わせて48億24百万円、前年同期比44億34百万円の大幅な増収となりました。

営業損益につきましては、物件販売が寄与したことにより前年同期比28億62百万円増加し、28億52百万円の利益となりました。

今後は営業部門の強化を図り、収益のさらなる増大を図ってまいります。

## 機械事業部門

機械事業部門は、各種中古工作機械、钣金機械等の仕入販売を中心としたビジネスモデルを構築しており、業界では国内トップの地位を占めております。

現在、7支店1営業所において営業展開を図っております。

売上高は、世界的な景気減速の影響により、堅調に推移していた欧州、アジア向けの輸出需要が減少に転じ、また、国内需要についても自動車業界をはじめとする企業の設備投資意欲の冷え込みにより、前年同期比2億17百万円大幅減少の9億43百万円となりました。

営業損益につきましては、売上高の減少に伴い、前年同期比2億92百万円減益の2億68百万円の損失となりました。

同業他社に先駆け、在庫機械の処分を完了したことから、中古機械の仕入に注力しており、早期の業績回復を図ってまいります。

事業セグメント別の売上高は次のとおりであります。

事業区分	当第2四半期連結累計期間 百万円	前第2四半期連結累計期間 百万円	前年同期比 百万円
貴金属事業	16,272	10,866	5,406 ( 49.7%)
不動産事業	4,824	390	4,434 (1,135.8%)
機械事業	943	1,160	△ 217 (△ 18.7%)
投資事業	—	215	△ 215 ( —%)
合計	22,040	12,633	9,407 ( 74.5%)

(注) 精金事業部は、平成20年7月1日付で名称を貴金属事業部に変更いたしました。  
投資事業につきましては、当社を取り巻く経営環境の変化に伴い、平成20年9月16日開催の取締役会において再進出することを決議いたしました。

# トピックス

## 1. 貴金属事業部

### (1) 事業部の名称変更、店舗の新設、金溶媒抽出設備増設について

#### ①事業部名変更について

精金事業部は、業務拡大の一環としてダイヤモンドを中心に扱う宝飾部門を新設し、営業を開始いたしました。これを契機として、事業部の名称を貴金属精製のイメージの強い精金事業部から、貴金属、宝飾を取り扱う幅広いイメージのある貴金属事業部に名称を変更いたしました。

#### ②宝飾店舗の新規オープンについて

貴金属事業部では、平成20年7月1日に宝飾銀座店を新規オープンいたしました。

宝飾店舗につきましては、ダイヤモンドのルースの販売を中心として、ジュエリー商品の各種販売を行ってまいります。

ダイヤモンドの在庫を豊富に取り揃えており、お客様に満足していただける商品をご提供してまいります。

#### ③金溶媒抽出設備等の増設について

東京工場は、現在月産600キログラムの金の生産体制を整えておりますが、平成21年4月の完成を目指し、金溶媒抽出設備3基および附属設備の増設工事を進めております。

これにより、金の生産能力は月産1,000キログラムとなります。

また、貴金属事業部は、金原料集荷強化のため、支店の新設を進めております。



宝飾銀座店



ジュエリーネックレス（商品の一例）

## (2) 商品、製品について

### ① 商品

貴金属事業部では、貴金属工芸品および宝飾品の販売に注力しております。

貴金属工芸品の販売は景気減速の逆風にもかかわらず、多くのお問い合わせをいただいております。

個人および法人向けとしてご贈答用に金製品、銀製品の販売を行っております。お客様のご要望に沿うべく、各種商品を取り揃えております。

### ② 製品

主力の製品である純金地金1キロバー（純度99.99%）は、伝統と信頼の中外ブランドとして、高品質を保ち個人資産、お祝い用など各方面にご好評いただき、高い評価を得ております。工業用の高純度金ターゲット（純度99.999%）、宝飾用の材料についても加工販売を行っております。

貴金属事業部のホームページアドレスは次のとおりです。

<http://www.jigane.com/>



純金 吉祥松 大名行列（商品の一例）



純金 風炉茶釜（商品の一例）

### (3) 宝飾部門新設について

宝飾部門では、お客様がご不用になりました宝石を適正価格にて買取させていただいております。

リサイクルを目的としておりますので、金・プラチナ等の地金・貴金属製品・ジュエリーであればどんなアイテム・商品でも買取させていただいております。

ダイヤモンド以外でも、金属の部分が金やプラチナのものであれば、ネックレスでも指輪でもイヤリングでもすべて買取が可能です。

形が古くなり使用していない宝飾品、また、思い出深い宝飾品を最新のデザインにジュエリーリフォームするサービスを行っております。

どのようなご要望にも、お応えできる体制を整えております。一度ご相談ください。

新たに新設した宝飾部門のホームページアドレスは次のとおりです。

<http://www.lupinus-japan.com>

貴金属事業部は、今後とも地球に優しいリサイクル事業を柱に、新技術の確立や新製品の提案を行ってまいります。



K18ダイヤモンドネックレス（商品の一例）



Pt900/850 ダイヤネックレス（商品の一例）

## 2. 不動産事業部

米国のサブプライムローン問題に端を発した金融市場の混乱、原油価格、原材料価格の高騰から不動産市況は急速に悪化しておりますが、不動産事業部は優良不動産の仕入販売に注力し、収益の更なる増大を図ってまいります。

### 3. 機械事業部

機械事業部は各種中古工作機械、鍛金機械等の仕入れ・販売を行っており、業界ではトップの地位を占めております。

今後とも、顧客ニーズに応えるべく営業展開を図ってまいります。

月刊誌「ニューマシンツール」について

毎月1回の発行にて、最新の中古工作機械、鍛金機械等の情報を掲載しております。

機械事業部のホームページアドレスは次のとおりです。

<http://www.intexkikai.com/>



NC旋盤



NC旋盤



レーザー加工機



毎月発行の中古工作機械専門誌



立型マシニングセンター

# ハイライト

---

## 1. 湯ヶ島鉱床下部探査ボーリングの結果について

平成20年5月に着手した湯ヶ島鉱床下部探査ボーリング工事は、湯ヶ島鉱床の直下部に鉱床帯が延長して存在するかどうかを確認することを目的としておりましたが、探査の結果、地質・変質状況および分析結果から既存鉱脈の直下部延長は捉えられませんでした。

この探査結果を受けて検討の結果、当分の間、新規ボーリング探査を行わないことといたしました。

## 2. 資本金の額の減少、資本準備金および利益準備金の額の減少について

(1) 平成20年6月27日開催の第116回定時株主総会において承認可決されました、資本金の額の減少、資本準備金および利益準備金の額の減少の効力が、平成20年8月1日に発生いたしました。

(2) 資本金は、41,159,265,753円から28,377,200,869円を減少し、12,782,064,884円となりました。

(3) 発行済株式総数の変更は行わず、資本金の額を無償で減少いたしました。

## 3. 会計監査人の変更について

当社は、平成20年6月27日開催の第116回定時株主総会において承認可決されました、会計監査人選任について、次のとおり変更いたしました。

旧監査法人名：なごみ監査法人

新監査法人名：フロンティア監査法人

## 4. 日本鉱業協会の理事就任について

当社は、日本鉱業協会の鉱種別会員のなかから「金・銀」の理事に選出され、平成20年4月1日就任いたしました。これは当社の長年にわたる金・銀のリサイクル事業が評価されたものであります。

# 財務諸表

## 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期末 平成20年9月30日現在	前第2四半期末 平成19年9月30日現在	科 目	当第2四半期末 平成20年9月30日現在	前第2四半期末 平成19年9月30日現在
<b>資 産 の 部</b>			<b>負 債 の 部</b>		
[流 動 資 産]	9,768	12,153	[流 動 負 債]	375	507
現金及び預金	5,643	1,082	支払手形及び買掛金	30	57
受取手形及び売掛金	148	99	短期借入金	52	129
たな卸資産	3,818	10,345	未払金	98	93
その他	161	628	未払法人税等	25	78
貸倒引当金	△ 2	△ 2	債務保証損失引当金	109	—
[固 定 資 産]	3,126	1,507	その他	58	148
有形固定資産	2,086	1,092	[固 定 負 債]	113	255
建物及び構築物	719	230	長期借入金	14	116
機械装置及び運搬具	197	189	長期未払金	85	107
土地	1,148	646	その他	13	31
その他	21	25	負債合計	489	762
無形固定資産	469	4	<b>純 資 産 の 部</b>		
投資その他の資産	570	410	[株 主 資 本]	12,404	12,901
投資有価証券	100	107	資本金	12,782	41,159
長期未収入金	381	328	資本剰余金	—	6,826
その他	469	453	利益剰余金	△ 346	△ 35,052
債務保証損失引当金	—	△ 150	自己株式	△ 30	△ 30
貸倒引当金	△ 381	△ 328	[少 数 株 主 持 分]	0	1
[繰 延 資 産]	—	5	純 資 産 合 計	12,405	12,903
資産合計	12,894	13,666	負債純資産合計	12,894	13,666

## 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期連結累計期間 平成20年4月1日～平成20年9月30日
売 上 高	22,040
売 上 原 価	18,868
売 上 総 利 益	3,172
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	882
<b>営 業 利 益</b>	<b>2,290</b>
営 業 外 収 益	21
受 取 利 息	0
国 庫 補 助 金 収 入	9
そ の 他	10
営 業 外 費 用	44
支 払 利 息	1
休 山 管 理 費	39
そ の 他	3
<b>経 常 利 益</b>	<b>2,266</b>
特 別 利 益	20
債 務 保 証 損 失 引 当 金 戻 入 額	20
そ の 他	0
特 別 損 失	2,623
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	20
仕 掛 不 動 産 評 価 損	1,804
減 損 損 失	698
た な 卸 資 産 評 価 損	97
そ の 他	3
税金等調整前四半期純利益 (△純損失)	△ 336
法人税、住民税及び事業税	10
少数株主利益 (△損失)	△ 1
<b>四半期純利益 (△純損失)</b>	<b>△ 346</b>

## 【ご参考】四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期連結累計期間 平成19年4月1日～平成19年9月30日
売 上 高	12,633
売 上 原 価	11,880
売 上 総 利 益	752
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	903
<b>営 業 利 益 (△損失)</b>	<b>△ 150</b>
営 業 外 収 益	42
受 取 利 息	0
国 庫 補 助 金 収 入	11
そ の 他	30
営 業 外 費 用	78
支 払 利 息	2
新 株 発 行 費 償 却	6
休 山 管 理 費	50
そ の 他	20
<b>経 常 利 益 (△損失)</b>	<b>△ 187</b>
特 別 利 益	255
貸 倒 引 当 金 戻 入 額	255
債 権 譲 渡 益	0
特 別 損 失	35,897
固 定 資 産 除 却 損	227
投 資 有 価 証 券 評 価 損	2
債 権 譲 渡 損	35,496
債 務 保 証 損 失 引 当 金 繰 入 額	150
そ の 他	0
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	21
税金等調整前四半期純利益 (△純損失)	△ 35,828
法人税、住民税及び事業税	11
少数株主利益 (△損失)	△ 31
<b>四半期純利益 (△純損失)</b>	<b>△ 35,808</b>

## 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期末	前第2四半期末	科 目	当第2四半期末	前第2四半期末
	平成20年9月30日現在	平成19年9月30日現在		平成20年9月30日現在	平成19年9月30日現在
<b>資 産 の 部</b>			<b>負 債 の 部</b>		
[流 動 資 産]	9,625	11,014	[流 動 負 債]	303	377
現金及び預金	5,368	862	買 掛 金	30	41
売 掛 金	148	85	短 期 借 入 金	52	104
た な 卸 資 産	3,400	9,349	未 払 法 人 税 等	20	59
未 収 入 金	—	10	債 務 保 証 損 失 引 当 金	109	—
短 期 貸 付 金	556	84	そ の 他	89	171
そ の 他	155	624	[固 定 負 債]	116	257
貸 倒 引 当 金	△ 2	△ 2	長 期 借 入 金	14	116
[固 定 資 産]	3,565	2,516	長 期 未 払 金	67	87
有 形 固 定 資 産	1,427	406	そ の 他	34	53
建 物	602	81	<b>負 債 合 計</b>	<b>419</b>	<b>634</b>
構 築 物	0	20	<b>純 資 産 の 部</b>		
機 械 及 び 装 置	169	148	[株 主 資 本]	12,771	12,901
土 地	635	133	資 本 金	12,782	41,159
そ の 他	20	22	資 本 剰 余 金	—	6,826
無 形 固 定 資 産	466	2	資 本 準 備 金	—	5,332
地 上 権	461	—	そ の 他 資 本 剰 余 金	—	1,494
そ の 他	5	2	利 益 剰 余 金	20	△35,052
投 資 そ の 他 の 資 産	1,671	2,107	利 益 準 備 金	—	253
投 資 有 価 証 券	—	7	繰 越 利 益 剰 余 金	20	△35,305
関 係 会 社 株 式	807	788	自 己 株 式	△ 30	△ 30
長 期 貸 付 金	430	1,046	<b>純 資 産 合 計</b>	<b>12,771</b>	<b>12,901</b>
長 期 未 収 入 金	381	328	<b>負 債 純 資 産 合 計</b>	<b>13,191</b>	<b>13,536</b>
そ の 他	433	416			
債 務 保 証 損 失 引 当 金	—	△ 150			
貸 倒 引 当 金	△ 381	△ 328			
[繰 延 資 産]	—	5			
<b>資 産 合 計</b>	<b>13,191</b>	<b>13,536</b>			

## 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期累計期間 平成20年4月1日～平成20年9月30日
売 上 高	21,102
売 上 原 価	17,933
売 上 総 利 益	3,169
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	623
<b>営 業 利 益</b>	<b>2,545</b>
営 業 外 収 益	30
受 取 利 息	8
国 庫 補 助 金 収 入	9
そ の 他	12
営 業 外 費 用	44
支 払 利 息	1
休 山 管 理 費	39
そ の 他	3
<b>経 常 利 益</b>	<b>2,532</b>
特 別 利 益	20
債 務 保 証 損 失 引 当 金 戻 入 額	20
そ の 他	0
特 別 損 失	2,526
仕 掛 不 動 産 評 価 損	1,804
減 損 損 失	698
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	20
そ の 他	3
税 引 前 四 半 期 純 利 益	25
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	5
<b>四 半 期 純 利 益</b>	<b>20</b>

## 【ご参考】四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期累計期間 平成19年4月1日～平成19年9月30日
売 上 高	11,394
売 上 原 価	10,984
売 上 総 利 益	409
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	568
<b>営 業 利 益 (△ 損 失)</b>	<b>△ 158</b>
営 業 外 収 益	66
受 取 利 息	22
国 庫 補 助 金 収 入	11
そ の 他	32
営 業 外 費 用	78
支 払 利 息	1
新 株 発 行 費 償 却	6
休 山 管 理 費	50
そ の 他	20
<b>経 常 利 益 (△ 損 失)</b>	<b>△ 170</b>
特 別 利 益	438
貸 倒 引 当 金 戻 入 額	250
投 資 評 価 引 当 金 戻 入 額	188
特 別 損 失	35,794
固 定 資 産 除 却 損	226
債 務 保 証 損 失 引 当 金 繰 入 額	150
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	21
関 係 会 社 株 式 評 価 損	11,242
投 資 有 価 証 券 評 価 損	2
債 権 譲 渡 損	24,150
そ の 他	0
税 引 前 四 半 期 純 利 益 (△ 純 損 失)	△ 35,526
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	6
<b>四 半 期 純 利 益 (△ 純 損 失)</b>	<b>△ 35,533</b>

# 会社概要 (平成20年9月30日現在)

会社名 中外鉱業株式会社  
(英文名) Chugai Mining Co., Ltd  
本社 〒100-6312  
東京都千代田区丸の内二丁目4番1号 丸ビル  
TEL 03-3201-1541(代)  
FAX 03-3201-5019  
http://www.chugaikogyo.co.jp  
創設 昭和7年5月2日  
立金 12,782,064,884円  
発行可能株式総数 527,000,000株  
発行済株式の総数 289,747,982株

## ■事業所

東京支店 〒100-6312  
東京都千代田区丸の内二丁目4番1号 丸ビル  
TEL 03-3201-1542 FAX 03-3201-1600  
御徒町支店 〒110-0005  
東京都台東区上野五丁目25番16号 ウエハラビル  
TEL 03-3832-1261 FAX 03-3832-1263  
御徒町南口支店 〒110-0005  
東京都台東区上野五丁目13番11号 二栄ビル  
TEL 03-5812-9020 FAX 03-3835-2444  
新宿西口支店 〒160-0023  
東京都新宿区西新宿七丁目2番10号 栄立新宿ビル  
TEL 03-5913-7800 FAX 03-5913-7801  
銀座支店 〒104-0061  
東京都中央区銀座一丁目14番12号 楠本第17ビル  
TEL 03-6427-6600 FAX 03-6427-6622  
宝飾銀座店 (平成20年7月1日新設) 〒104-0061  
東京都中央区銀座四丁目3番7号 猿谷ビル  
TEL 03-5159-7555 FAX 03-6913-3393  
五反田支店 〒141-0031  
東京都品川区西五反田二丁目7番11号 光洋ビル  
TEL 03-6225-0706 FAX 03-6225-0716  
甲府支店 〒400-0031  
山梨県甲府市丸の内二丁目8番3号 丸和ビル  
TEL 055-227-3500 FAX 055-227-3330  
名古屋支店 〒460-0011  
名古屋市中区大須三丁目15番16号 第一水野ビル  
TEL 052-242-0676 FAX 052-242-6778  
大阪支店 〒542-0081  
大阪市中央区南船場四丁目6番10号 新東和ビル  
TEL 06-4704-5061 FAX 06-4704-5062  
福岡支店 〒810-0001  
福岡市中央区天神五丁目7番3号 福岡天神北ビル  
TEL 092-405-8010 FAX 092-405-8623

## ■事業所

東京工場 〒143-0003  
東京都大田区京浜島二丁目12番16号  
TEL 03-3790-7130 FAX 03-3799-4091  
持越工場 〒410-3206  
静岡県伊豆市湯ヶ島892番地41  
TEL 0558-85-0762 FAX 0558-85-1547

## ■役員

代表取締役社長 安藤道明  
常務取締役 小川幸重  
取締役 阿部守  
取締役 菅澤春幸  
常勤監査役 西元丈夫  
社外監査役 山崎康雄  
(弁護士)  
社外監査役 内田雅敏  
(弁護士)  
社外監査役 高橋信行  
(公認会計士)

## ■連結子会社

株式会社インテックス

## ■非連結子会社

中外化学株式会社  
株式会社キャリアメイト

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会の議決権 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 本店
同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

(お知らせ)

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求および配当金振込指定に必要な各  
用紙のご請求は、下記株主名簿管理人中央三井信託銀行のフリーダイヤルまたはホ  
ームページをご利用ください。

●フリーダイヤル 0120-87-2031 (24時間受付：自動音声案内)

●ホームページ [http://www.chuomitsui.co.jp/person/p\\_06.html](http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html)

単元株式数	100株
単元未満株式の 買取請求場所	上記の株主名簿管理人、同事務取扱所および同取次所
公告方法	日本経済新聞
上場取引所	東京、大阪各証券取引所